

□ 主な内容

【交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合が開催されます】

国土交通省は、交通分野における気候変動・大気汚染対策について、主要国大臣・関係国際機関の間で知見・情報を交換する会合を開催します。

【豊中市で近畿 EST シンポジウムが開催されます】

豊中市、国土交通省近畿運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団、EST普及推進委員会等は、豊中市にあるアクア文化ホールで、ESTに関するシンポジウムを開催します。

□ 目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 29 回)

●「持続可能な都市とまちづくり」

【宇都宮大学大学院地球環境デザイン学専攻 准教授 森本章倫】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 29 回)

●「出雲市での EST の取り組み」

【出雲市地域振興部交通政策課主任 大菅健一】

3. ニュース／トピック

●交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合【国土交通省】

●第7回グリーン物流パートナーシップ会議を開催しました【日本ロジスティクスシステム協会、日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】

●電気自動車等に係る実証試験事業について【環境省】

●マツダテストコースで参加・体験型エコドライブ講習会【中国運輸局】

●エコドライブ体験談大募集(自動車環境負荷低減対策)【仙台市】

●かしわコミュニティバスおよびかしわ乗合ジャンボタクシーの利用実績【柏市】

●三郷料金所スマート IC 社会実験が始まりました【三郷市】

●京都府電気自動車等の普及の促進に関する条例(仮称)の骨子に対するパブリックコメント募集【京都府】

●大阪府の流入車規制が平成21年1月1日から始まります【大阪府】

●国、県、市が一体となって、国道2号バイパス姫路東ランプ周辺の交通対策に取り組みます【兵庫県】

●東京駅で発電床の実証実験を行います【東日本旅客鉄道】

4. イベント情報

- 近畿 EST シンポジウム【2009/1/31】
- 第1回交通まちづくり事例部会【2009/1/10】
- 地域公共交通活性化・再生セミナー【2009/1/28】
- リヨン(仏)の環境まちづくり:都市交通政策とヴェロヴ【2009/1/29,30,2/2】

5. その他

- 記事募集中！

=====

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第29回)

●「持続可能な都市とまちづくり」

【宇都宮大学大学院地球環境デザイン学専攻 准教授 森本章倫】

持続可能な都市の議論が出て久しく経ちます。しかし本当の意味での持続性がまちづくりの中で実践されているかという、疑わしいと思っています。持続性という言葉は時間軸上の安定性を指していて、明日の事でもあれば100年後のことでもあります。しかし、最近どうも短期的な持続性が優先される場面がまちの中に多いのではないのでしょうか。4半期の営業成績の上下に振り回される企業、年度予算の収支に明け暮れるお役所、4年の任期内での成果に執着する政治家。短期的な期間の評価がその当事者の次を決定するため、当事者は精一杯頑張ります。より高い評価を得るためには持てる力の全てをその期間内に使おうとします。持続可能性とはまちの構成員が全力で走った結果に到達できるものなのではないでしょうか？

不確実性の高い社会の中で安定的な持続性を確保するためには、良好な状況のときに財を蓄え、未来に備える方法もあります。まちづくりでは、余力のあるときに道路や橋等の社会基盤施設を整備し、余剰の土地資産を次世代に回したりすることを指します。現存する需要にピッチリ対応する整備や、売れ残った公共用地の早期処分は、正しいようで正しくないかもしれません。ちょっと広めの道路や、都心部の空地や緑など、次のまちづくりができる余裕を残すこと。このちょっとした余裕もまちづくりの持続性だと思います。

ファースト・フードに対してスロー・フードという言葉があります。現代社会で生き残りをかけてレースしている都市をファースト・グロースと揶揄するなら、長期的な持続可能性を有する都市は、ゆとりのある発展「スロー・グロース」をスローガンに掲げた都市なのかもしれません。

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第29回)

●「出雲市でのESTの取り組み」

【出雲市地域振興部交通政策課主任 大菅健一】

NHK 朝の連続テレビ小説「だんだん」には、出雲市と松江市を結ぶ「一畑電車」の映像が、オープニング、エンディングで映っていますが、お気づきですか。

「だんだん」の放映が始まったこと、また縁結びの神「出雲大社」の60年に一度の遷宮が始まったことで、近年にもまして全国の皆様に出雲市へお越しいただいています。

県内有数の観光地である出雲市へは、観光客のほとんどが、自家用車、また観光バスで来雲いただいています。近年増えている個人旅行者への対応、また自家用車による観光客を公共交通利用での観光を促すため、既存の複数路線や交通モードを組み合わせ、目的地（観光地）までの移動を提案し、来雲後の移動に関する情報を事前にホームページで提供することにより、公共交通での観光を提案しています。

同様に、地元住民に対しても、代表的な医療機関への公共交通の乗り換え案内を提供することで、自動車で移動しがちな住民の行動を公共交通へと転換する取り組みを実施しています。

【観光客に対する情報提供】

JR、高速バスなど広域交通と地域内の一畑電車、路線バスの組み合わせによる観光地まで乗り換え案内の提供

【地域住民に対する情報提供】

市内各地から地域間交通（合併前の市町村間）と市中心部の医療機関や行政機関への乗り換え時刻表の提供

<http://www.city.izumo.shimane.jp/icity/browser?ActionCode=genlist&GenreID=1179816978186&FP=toppage&SiteID=000000000000>

3. ニュース／トピック

●交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合【国土交通省】

国土交通省は、本会合を通じて、交通分野における気候変動・大気汚染対策について、主要国大臣・関係国際機関の間で知見・情報を交換するとともに、大臣宣言などを通じて本分野における国際的な協調・連携を推進します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo05_hh_000006.html

●第7回グリーン物流パートナーシップ会議を開催しました【日本ロジスティクスシステム協会、日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省】

社団法人日本ロジスティクスシステム協会、社団法人日本物流団体連合会、経済産業省及び国土交通省は、社団法人日本経済団体連合会の協力のもと、12月19日（金）に経団連ホールにおいて「第7回グリーン物流パートナーシップ会議」を開催しました。第7回会議では、グリーン物流パートナーシップ推進事業の中から、物流分野における地球温暖化対策に顕著な功績があった取組みに対し、国土交通大臣表彰、経済産業大臣表彰、政策統括官表彰を行いました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000019.html

●電気自動車等に係る実証試験事業について【環境省】

環境省では、今後の電気自動車等の普及拡大を図るため、来年以降市場投入される i MiEV、プラグイン・ステラなど 50 台以上の電気自動車等を用いて大規模実証試験事業を行うこととしました。「次世代自動車について、2020 年までに新車販売のうち2台に1台の割合で導入する」(「低炭素社会づくり行動計画」平成 20 年7月閣議決定)という目標の実現のための施策の一環として行うものであり、市場投入初期の信頼を確立するとともに、これにより初期需要を創出し、価格の低減につなげ、今後の普及拡大を図るものです。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=10538>

●マツダテストコースで参加・体験型エコドライブ講習会【中国運輸局】

日本自動車連盟(JAF)主催、マツダ(株)と中国運輸局の共催により、マツダ(株)三次自動車試験場にて「参加・体験型エコドライブ講習会」が開催されました。

<http://www.cgt.mlit.go.jp/koukan/ecodrv.pdf>

●エコドライブ体験談大募集(自動車環境負荷低減対策)【仙台市】

仙台市では、自動車による環境負荷の低減のため、エコドライブの普及推進に取り組んでいます。今回、「いいことあるかも!!エコドライブ体験談大募集」と題し、エコドライブの体験談を仙台市から募集します。応募作品の中から選考を行い、図書カードやエコドライブ特製記念品の授与を行います。

http://www.city.sendai.jp/kankyuu/taisaku/car_page/taikendan/index.html

●かしわコミュニティバスおよびかしわ乗合ジャンボタクシーの利用実績【柏市】

柏市では、市民の生活を支える交通手段として、かしわコミュニティバスおよびかしわ乗合ジャンボタクシーの運行を行っています。平成 20 年度の利用状況では、月毎の変動は多少あるものの、毎月一定以上の利用がされていました。

http://www.city.kashiwa.lg.jp/living_guide/traffic/bus_taxi/20-1321taxi.htm

●三郷料金所スマートIC 社会実験が始まりました【三郷市】

平成 20 年 12 月 19 日(金)午後3時より、常磐自動車道三郷料金所付近にて、三郷料金所スマートIC社会実験が始まりました。24 時間利用でき、水戸方面への入口、水戸方面からの出口にて利用が可能です。対象車種はETC車載器をつけた普通車、軽自動車、二輪車となっています。

<http://www.city.misato.lg.jp/dd.aspx?itemid=5525#itemid5525>

●京都府電気自動車等の普及の促進に関する条例(仮称)の骨子に対するパブリックコメント募集【京都府】

京都府では、京都府における電気自動車等の早期の本格的普及を図るために、条例骨子を作成しました。本条例骨子は、府、府民、事業者の責務等を明らかにし、施策の基本となる事項等を定めて、電気自動車等の普及の促進等に関する施策及び取組を計画的に推進する事を目的としています。この骨子に対して、京都府ではパブリックコメントを募集しています。

<http://www.pref.kyoto.jp/news/recruitment/2008/12/1228104195925.html>

●大阪府の流入車規制が平成21年1月1日から始まります【大阪府】

大阪府では、自動車 NOx・PM 法の対策地域外から対策地域内へ流入する車による窒素酸化物及び粒子状物質の排出負荷割合の増大が無視できない状況であることから、流入車対策を盛り込んだ生活環境の保全等に関する条例を改正し、平成 19 年 10 月 25 日に公布しました。

条例により、自動車 NOx・PM 法の排ガス基準を満たさないトラックバス等は、平成21年1月1日(特種自動車は、平成21年10月1日)から大阪府域37市町内での発着ができません。また、発着が可能なトラックバス等(車種規制適合車等)には、府が交付するステッカーの表示が必要となります。

<http://www.epcc.pref.osaka.jp/kotsu/ryuunyuuu/index.html>

●国、県、市が一体となって、国道2号バイパス姫路東ランプ周辺の交通対策に取り組みます【兵庫県】

国道2号姫路バイパス姫路東ランプは、播磨臨海部に立地する企業等の交通が集中するため、通勤等によるピーク時を中心に、下りOFFランプからバイパス本線、南北に交差する国分寺白浜線等、慢性的な交通渋滞が面的に発生しています。これらの交通課題に対応するため、地元自治会、警察、姫路市、兵庫県、国土交通省が参加する現地検討会を開催し、関係機関が連携して姫路東ランプ周辺の交通対策に取り組むこととしました。

http://web.pref.hyogo.jp/press/press_c_harima_00044.html

●東京駅で発電床の実証実験を行います【東日本旅客鉄道】

JR東日本では、地球環境にやさしい駅づくりの一環として、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構及びジェイアール東日本コンサルタンツ(株)と共同で、2006年から発電床の開発を進めています。今回、発電能力を向上させた改良品を東京駅に約2か月間設置して実証実験を行います。発電量は昨年度比で約10倍を見込んでいます。

<http://www.jreast.co.jp/press/2008/20081201.pdf>

4. イベント情報

●近畿 EST シンポジウム

日時:2009年1月31日(土) 10:00~17:00

会場:アクア文化ホール(大阪府豊中市曽根東町 3-7-1)

主催:豊中市、国土交通省近畿運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団、EST 普及推進委員会、豊中市 EST モデル事業推進委員会

http://www.estfukyu.jp/pdf/kinki_est.pdf

●第1回交通まちづくり事例部会

日時:2009年1月10日(水)13:30~18:00

会場:金沢大学自然科学研究科2号館Cブロック5階(土木建設工学科会議室)

主催:土木学会 土木計画学研究委員会 交通まちづくり研究小委員会

<http://www.jsce.or.jp/committee/ip/events/articles/01404.txt>

●地域公共交通活性化・再生セミナー

～ 総合的な交通政策を進めるための研修会:実践編 ～

日時:2009年1月28日(水)13:30~18:00

会場:クレオ大阪(大阪市男女共同参画センター)東部館 ホール

主催:国土交通省近畿運輸局

<http://www.kkt.mlit.go.jp/osirase/20090128.html>

●リヨン(仏)の環境まちづくり:都市交通政策とヴェロヴ

(リヨンから自転車交通政策担当者を招聘し、講演)

【松本市】

日時:2009年1月29日(木)

会場:中央公民館

主催:松本市ノーマイカーデー推進市民会議

【東京】

日時:2009年1月30日(金)16:00~(15:30 開場)

会場:共立女子大学共立講堂

主催:カーフリーデージャパン

【浜松市】

日時:2009年2月2日(月)

会場:浜松市

主催:静岡文化芸術大学

※詳しくは、各主催者へお問い合わせ下さい。

5. その他

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomoto.or.jp (担当:市丸)

=====

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>